



令和元年9月号
うみのこセンター
TEL(054)335-1148
FAX(054)335-1292

2(月)	3(火)	4(水)交流保育	5(木)	6(金)
総合防災訓練 りす・うさぎ 9:45 (親子遊び)	きりん・しか 9:45 (親子遊び)	ラッコ 10:40 (親子遊び) ランチ	パンダ 10:00 (親子遊び) ランチ	療育相談 9:30 A 9:45 (感覚)
特別指導	K 14:00	F 14:00 (親子遊び)	B 13:30 (親子遊び)	G・C 13:30 (親子遊び)
9(月)	10(火)	11(水)交流保育	12(木)	13(金)
りす 9:45 (感覚)	きりん 9:45 (感覚)	ラッコ 10:40 (紙遊び)	療育相談 9:30 シンデレラクラブ 10:00	A 9:45 (親子遊び)
面接相談日	個別指導日	G 14:00 (感覚)	E 13:30 (親子遊び)	D 14:00
16(月)	17(火)	18(水)交流保育	19(木)	20(金)
敬老の日	しか 9:45 (感覚)	*ラッコ・パンダ 10:40 (運動)	うさぎ 9:45 (感覚)	*ラッコ・パンダ 10:00 (新入園児母親教室) (稲吉先生)
	K 14:00	F 14:00 (感覚)	B 13:30 (感覚)	C 13:30 (感覚)
23(月)	24(火)	25(水)交流保育	26(木)	27(金)
振替休日	しか 9:45 (生活)	パンダ 10:40 (紙遊び)	年長児母親教室 10:00 (先輩母)	A 9:45 (生活)
	E 14:00 (感覚)	G 14:00 (生活)	B 13:30 (生活)	C 13:30 (生活)
30(月)	<活動日にご注意!> 9月は祝日や他の事業が入る関係で、曜日や時間に変更になっているグループがあります。日程をご確認のうえ、お間違えのないようご注意ください。		<交流保育について> 9月4日(水)から再開となります。お休みする時は今までと同様に、こども園とうみのこセンターに連絡してください。	
うさぎ 9:45 (生活)				
D 14:00				

<新入園児母親教室> 20日(金) 10:00~ 2階会議室

来年度入園を控えているお子さんのお母さんを対象に、稲吉 静先生よりこの時期のお子さんの発達についてや大切にしたい関わりのポイントをお話して頂きます。ぜひご参加ください。

すでに入園している方は、18日(水)10:40~の運動の活動にご参加ください。

<年長児母親教室> 26日(木) 10:00~ 2階会議室

先輩お母さんに来ていただき、就学までの思い、悩み、どのように就学先を決めたかなどについて実際の体験談をお話していただく予定です。ぜひご参加ください。年長児以外の保護者の方も参加できます。





【味覚:どんな味?】

普段食べている食事やおやつ、どんな味がしますか?味にはどんな種類があるのでしょうか。「おいしい」だけではなく、あまい、からい、しょっぱい、すっぱいなど、色々な表現の仕方がありますね。実際に味わいながら、味と言葉をつなげてみましょう。

【生活:洗濯(年少)】

7~8月の活動ではハンカチを洗って干しました。今回は、干してあるものを取り込んでたたみ、引き出しにしまうことをやってみます。おうちでもお手伝いができるようになるといいですね。

【生活:買い物(年中)】

うみのこセンターのお店屋さんではなく、実際に近くのお店屋さんに出かけて買い物をしてみたいと思います。買うものと金額は後日お知らせしますので、お金の準備をお願いします。なお、当日は個別の課題はなしでグループ活動のみの予定です。



《新入園児母親教室を行いました》

7月10日に、来年度入園を考えている保護者の方を対象に母親教室を行いました。3人の先輩お母さんに来ていただき、入園までの気持ちや、今の園を選んだ理由などをお話していただきました。

・Aさん(私立保育園から公立こども園へ転園)

園から「切り替えが悪い、集団活動ができない」と言われていた。先生に相談し1対1で対応してもらったが、年少になると縦割りになり人数も増えるので、子どもには負担になると思い転園を決めた。環境の変化が子どもに負担になるのではないかと新しい園に慣れるのか心配だった。2~3園見学し、今の園が各学年1クラスで人数が少なかったこと、園の先生方が子どもを理解してくれたことが決め手となった。加配制度も悩んだが、途中で付けられないと聞き受けることにした。転園を決めた瞬間、心が軽くなった。転園前は朝も帰りも泣いていたが転園後は泣くこともなく、切り替えも子どもにわかる様に先生方が上手にやってくれている。

・Bさん(私立こども園)

場所見知り、人見知りが強い子。交流保育に参加し、大変だったが生活リズムを立て直せて助かった。行くまで泣いて終わるころに泣き止む感じだった。昨年の今頃はどこに入るか悩んでいた。近隣の園の遊びの会に参加したが、いつも泣いていた。入園説明会で「今泣いていればそのうち楽しめるようになるよ」と声をかけてもらい、遊べるようになった。先生方も名前を覚えて良く対応してくれた。入園後は体操着や園服が着れなかった。園からはもう少し泣くと思ったと言われた。入園して園に助けてもらった。

・Cさん(公立こども園)

入園前は児童発達支援事業所に通所した。入園先はいこいの家とこども園を紹介された。子どもの成長を考え、こども園を希望して特面も受けた。園は細かく話を聞いてくれ、遊びのコーナーも充実していて遊びの幅が広く、先生方も子どもの事を理解してくれた。他児のごっこ遊びに混じらないなりにくっついていたり、子どもが一人で遊んでいると入ってきてくれたり、助けてもらっている。

指示より見本



うみのこセンターの活動にはお母さんが参加して下さることが多いのですが、最近はお父さんも一緒に参加して下さることが多くなりました。先日も、ご夫婦で参加された方がいました。ちょうどお父さんのお休みとうみのこセンターの活動日が重なったので、「普段は行けないから行ってみたら?」とお父さんを誘い出し、活動にも一緒に入ってくださいました。グループが始まり、子どもたちは部屋に入り椅子に座りましたが、その子は部屋の中を走り回っていました。お父さんとお母さんは子どもが座るのを待っています。なかなか座らない子どもにお母さんは「パパを見てごらん」と声をかけました。お父さんは床に座っています。子どもはお父さんを見ると、走るのをやめ、椅子に座りました。「座りなさい」ではなく、座っているお父さんの姿を見せることで子どもが気づき、自分から座ることができた素敵な場面でした。

うみのこセンターのおたよりが、ホームページから閲覧できるようになりました。

令和元年8月号より、おたよりを事業団ホームページに載せることができるようになりました。予定の確認などにぜひご活用ください。

〈閲覧手順〉

- ① 静岡市しみず社会福祉事業団 トップページ <http://www.shimizu-294.jp> イベント報告→うみのこセンター
- ② トップページ「新着情報」

